

CITY OF YOKOHAMA

「TECH HUB YOKOHAMA」から スタートアップの成長が加速

2026年5月29日
市長定例記者会見



横浜市

TECH HUB YOKOHAMA 開設によるスタートアップ支援の変化

支援の方向性

- ✓ 人材や知見が集まるTECH HUB YOKOHAMAを中心とした企業・スタートアップ連携の促進
(メンバー数:246社 ※2025年度末時点)
- ✓ 横浜のポテンシャル(①大企業R&Dの集積 ②製造業の集積 ③豊富な研究開発人材(ものづくり系))の活用

開設前

対象を特化しない支援


- ・ 起業家育成や集合型のイベント/プログラム中心
- ・ 分野を限定せずスタートアップを支援
- ・ フィールド提供が中心の実証実験

TECH HUB YOKOHAMA 開設後

テック系に特化したスタートアップへの個別支援

- ✓ **成長加速化伴走支援プログラム**
個別のニーズに合わせ、専門家・VCネットワークを活用した支援
【資金調達/販路開拓/経営・知財支援等】
- ✓ **テック系スタートアップ実証実験支援**
市内企業等と連携した実証実験の促進
【助成金の交付/実証フィールドの調整/協業先マッチング等】

TECH HUB YOKOHAMA 開設前後のスタートアップ数等の比較

2023年度 (開設前)		2024年11月 TECH HUB YOKOHAMA 開設	2025年度 (開設後)	増減
市内スタートアップ数	114社 (2024年3月末時点)		145社 (2026年3月末時点)	28%増 (+31社)
資金調達額 (年度毎・総額)	84.2億円/年		100.5億円/年	20%増 (+16.3億)
資金調達額 (1社当たり平均)	2.5億円		3.5億円	40%増 (+1.0億)

- ※ スタートアップ数は、STARTUP DBから資金調達実績のある横浜市内本社の企業数を掲載
- ※ 資金調達額は、出資・融資・補助金すべてを含む
- ※ いずれも2026年4月7日抽出

支援プログラムによる成果

✓ 伴走支援 (成長加速化伴走支援プログラム)

採択分野 AI / 半導体 / 量子 / モビリティ / ロボティクス / フードテック / 化学 / グリーンテック / バイオ / 金属 /

支援体制 VC / INPIT※1 / 中小機構 / IDEC横浜※2 等

※1 独立行政法人 工業所有権情報・研修館

※2 公益財団法人横浜企業経営支援財団

主な成果
2026年5月末時点

資金調達※3	NDA締結※4	専門人材等採用
28億円 (4社)	60件以上 (5社)	13名 (3社)

伴走支援先

7.0億円/社

TECH HUB
メンバー

4.0億円/社

TECH HUB
メンバー以外

3.3億円/社

※3 資金調達額は出資のみ
(融資・補助金を含まない)

※4 NDA…
協業等を前提に秘密保持
の契約を取り交わすこと

✓ 実証実験支援 (テック系スタートアップ実証実験支援)

採択分野 AI / 半導体 / モビリティ / バッテリー / DX / アグリテック / ヘルスケア

主な成果

実装	開発協力	市内立地
2件 (2社)	15件 (8社)	2社

支援スタートアップの紹介とコメント

伴走支援



AIで化学プラントのエネルギーコスト、CO2削減を実現するスタートアップ

Opero株式会社(西区)

化学プラントの運転DX・自動化プラットフォーム「Opero Copilot」を開発・運営



支援成果

エンジニア採用/資金調達/
公的プログラムの採択 等



事業メンタリングのほか、特許出願やエンジニア採用、販路拡大など様々なサポートをいただき、数多くの成果を上げることができました。

伴走支援



世界唯一の接合技術で、ものづくりに革新をもたらすスタートアップ

株式会社LINK-US(港北区)

熱を使わない「超音波複合振動」による金属接合装置を開発・製造



支援成果

新領域の顧客開拓/資金調達/
コンテスト受賞 等



既存事業から半導体や家電領域へ展開を広げ、関連企業からの引き合いや大手との協業を通じ、新市場での成長機会を得て大きく成長できました。

実証実験支援



拠点内搬送の自動化で、人手に頼らない物流を実現するスタートアップ

ecoro株式会社(西区)

次世代EVシャトル×自動積み下ろしロボットによる自動輸送システムの開発



支援成果

助成金を活用した開発促進/
横浜市内に日本法人を設立



協力企業へ本実証の検証結果を共有したことで、次の検証ステップや導入に向けた課題について、具体的な意見交換を行うことができました。



スタートアップのニーズに寄り添い、
具体的成果を生み出す、
横浜らしい支援を拡充していきます。

伴走支援

専門人材の確保、市内中小企業やR&Dとの連携も活用した支援の強化

実証実験

2017年以降、累計100件を超える実績から得られたノウハウ・ネットワークを活用した、実証を実装につなげる支援

▶ スタートアップの成長・立地・創出を進め、
市内経済の活性化を目指します。

（横浜市中期計画2026-2029(原案)
市内スタートアップ雇用者数の倍増(4,313人→9,000人)